

事業番号	135
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	認知症見守りネットワーク構築事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	地域福祉課							
	事業期間	平成21年度			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		2 高齢者の在宅生活を支援します									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	3		中	8	
	根拠法令・個別計画	小牧市認知症コーディネート推進会議設置要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	認知症高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。														
	内容 (手段)	<p>認知症に対する知識の普及・啓発を図るとともに、地域ごとに地域包括支援センターを拠点として地域住民、事業所、商店、医療機関などの地域資源を活用し、認知症の方に対する見守りのネットワークを構築し、支援を行う。</p> <p>(実施内容)</p> <p>認知症対応コーディネート推進協議会 3回 認知症サポーター養成講座 47回</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 認知症サポーター養成講座に伴う消耗品 109千円 委員謝礼 108千円 認知症見守りネットワークケータイ連絡網利用料等 76千円 その他消耗品費等 306千円</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 認知症サポーター養成講座に伴う消耗品 416千円 委員謝礼 324千円 認知症見守りネットワークケータイ連絡網利用料等 350千円 その他消耗品費等 700千円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	502	456	599	1,790	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,028	982	1,125	2,316		
対前年比	%			95.5	114.5	205.8		
財源	一般財源	千円	1,028	982	1,125	2,316		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	認知症サポーター養成講座	回	目標	57	48	36
実績				47	45	35	
業	ネットワーク登録者数(メール・FAX)	人	目標	504	780	900	1,300
			実績	717	885	1,144	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標	—	—	—	—
業	認知症サポーター	人	実績	5,175	6,304	7,622	
			目標	504	780	900	1,300
績	ネットワーク登録者数(メール・FAX)	人	実績	717	885	1,144	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	認知症高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるように事業を推進しており、認知症サポーター、ネットワーク登録者数ともに、大幅に増加した。				
		事業実施における課題	認知症サポーター養成講座を受講していただいた方の活用方法及びフォローアップ。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	認知症高齢者等の増加が見込まれるが、認知症に対する知識の普及が進まなくなり、認知症高齢者が在宅生活の継続を図る上で必要な地域住民の支援や協力が得られない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	認知症見守りネットワークの普及拡大を図るため、小学生、中学生、高校生に認知症サポーター養成講座を開催する。認知症サポーター養成講座を受けていただいた方に認知症の方に対し直接的支援を行えるようフォローアップ研修を行っていく。また、近隣市町に認知症の徘徊が発生した時に協力を得られるように打合せを行っていく。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援するために、認知症に対する知識等の更なる普及が必要であるため。					
	27年度以降の改善案	認知症見守りネットワークの普及拡大を図るために、PR活動を行っていく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。